町の家計簿を公開します

平成19年度 決算状況 報告

みなさんが納める税金や国・県からの補助金は私たちの生活をよりよくするためにさまざまな形で使われています。これらが平成19年度はどのように納められ使われたのかを知っていただくために、一般会計決算についてご説明します。

一般会計

平成19年度の一般会計決算額は、歳入が111億5,349万円で、前年度と比べると6,467万5千円（0.6％）の減となり、歳出は108億59万1千円で、前年度に比べ1,982万8千円（0.2％）の増となりました。

歳入歳出差引額は、平成20年度へ繰り越すべき財源を差し引いて3億3,223万1千円になりますが前年度からの繰越金2億1,870万1千円及び繰入金のうち基金を取り崩した額3億3,276万4千円（基金への積立金1億7,404万円除く）を除くと2億1,923万4千円の赤字となります。引き続き基金に依存した財政運営になっています。

◆歳入

歳入の主なものとしては、町税が全体の51.7％を占める57億6,479万5千円で、前年度に比べ8.9％の増となりました。これは町民1人当たり12万1,586円負担していただいたことになります。次に地方交付税の13億9,599万1千円で、町の財政規模等の状況に応じて国から交付されたものです。つづいて、県支出金の4億9,166万6千円で、県からの負担金、補助金及び委託金になります。

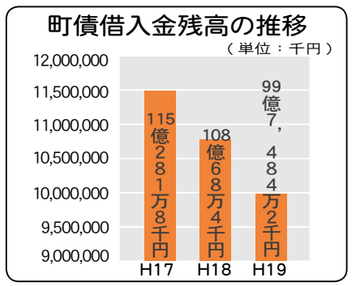
◆歳出

歳出の、目的別では、民生費が25億2,978万9千円と最も多く、杉戸子育て支援センターの開設などにより前年度に比べ9.5％の増となりました。次に教育費の20億3,794万円で、エコ・スポいずみ屋内プール天井改修工事の減などにより前年度に比べ0.3％の減となりました。つづいて、公債費の14億9,593万6千円で、借入金の抑制などにより前年度に比べ0.6％の減となりました。以下、総務費、衛生費の順になっています。

また、性質別では、人件費が31億9,269万円で全体の29.6％を占めており、給与構造改革により前年度に比べ4.6％の減となりました。次に物件費の22億4,207万円で全体の20.8％を占めています。以下、公債費、繰出金の順になっています。

◆町債借入金現在高の状況

町債の借入金現在高は、平成18年度末108億68万4千円から、平成19年度の起債額4億7,951万円を足し、償還元金13億5,352万円を差し引くので、平成19年度末で99億7,484万2千円となりました。



■地方交付税
国税の中から地方財源の均衡を図るために国から交付された税

■町債
事業資金調達のため借り入れたお金

■繰入金
特別会計の余剰金や基金を取り崩したお金

■国庫（県）支出金
国（県）からの負担金・補助金・委託金等

■地方譲与税
所得税などの国税から客観的基準によって国から譲与された税

■繰越金
前年度から繰り越されたお金

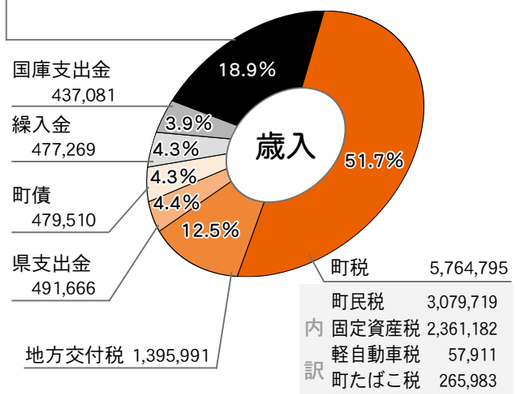
■地方消費税交付金
消費税の一部の交付金

■地方特例交付金
恒久的減税による減収の一部を国が補てんした交付金

歳入総額　111億5,349万円

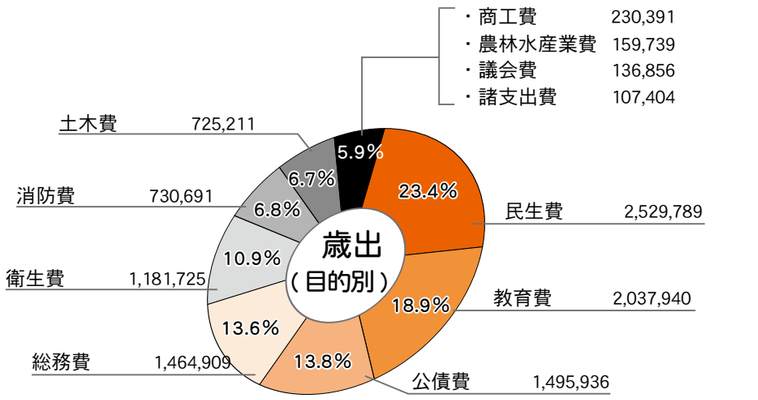
（単位：千円）

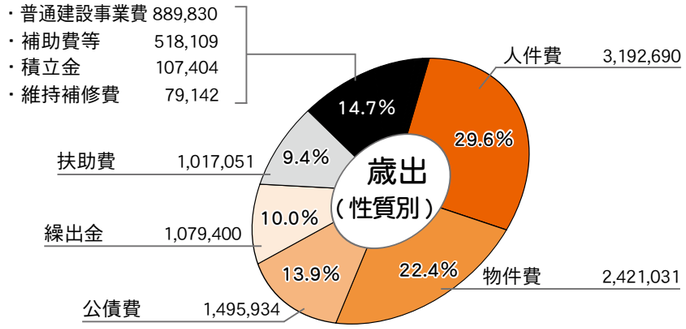
・分担金及び負担金	424,455	・繰越金	218,701
・地方消費税交付金	356,278	・地方譲与税	208,409
・諸収入	327,409	・自動車取得税交付金	153,753
・使用料及び手数料	272,385	・その他	145,788



歳出総額　108億59万1千円

（単位：千円）





歳出＜目的別＞の主な事業

教育費
- 杉戸小学校耐震補強工事　1億283万2千円
- 杉戸中学校耐震補強工事　2,388万8千円

民生費
- （仮称）子育て支援整備事業（杉戸子育て支援センター開設）　3,378万3千円
- 奉仕員養成（手話・要約筆記）研修事業　87万7千円

総務費
- 地域防災計画の策定　425万3千円
- 防災ハザードマップの作成　451万5千円
- 防災行政無線屋外支局整備事業　1,331万4千円
- セキュアプリントシステム導入事業・共通業務用コピー・プリンター　757万4千円
- 町勢要覧の作成　176万4千円

土木費
- 町営住宅火災警報器設置工事　223万7千円

消防費
- 携帯電話・IP電話119番通報発信位置情報システム整備事業　309万8千円
- 自動体外式除細動器の購入（全小中学校にAEDを設置）　173万3千円

実質収支の状況

区　分	金　額
歳入総額	11,153,490千円
歳出総額	10,800,591千円
歳入歳出差引額	352,899千円
翌年度へ繰り越すべき財源	20,668千円
実質収支額	332,231千円
基金繰入額	166,116千円
収支残による翌年度繰越額	166,115千円

特別会計

特別会計には、国民健康保険特別会計、老人保健事業特別会計、公共下水道事業特別会計、介護保険特別会計があります。

平成19年度の特別会計決算額は次のとおりです。

特別会計			
区　分	歳　入	歳　出	差　引
国民健康保険	4,381,653千円	4,318,556千円	63,097千円
老人保健	2,642,288千円	2,566,828千円	75,460千円
公共下水道事業	848,947千円	825,557千円	23,390千円
介護保険	1,744,917千円	1,636,772千円	108,145千円

■問合せ
財政課　財政担当　内線272